

平成29年1月25日

## 平成28年度 第2回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校  
校長 澤登 一浩

〔会議日時〕 平成29年1月16日（月）午後7時00分～午後8時30分

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員4名

村松 秀樹さん（社会教育委員 学校評議委員）

小池 康郎さん（若草地区自治会連合会長 十日市場自治会長）

塚原 久美子さん（主任児童委員、学校評議員）

松原 由美さん（PTA副会長、学校評議員）

・学校側3名

澤登 一浩（校長）

横小路 豊（教頭）

小田切 英史（主幹教諭）

### 1 学校からの説明事項

第2回学校評価、各アンケートの集計結果について

①児童アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

②保護者アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

③教職員アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

### 2 意見交換

#### （1）教育活動全般に関わって

・発言・発表力の大切さに関わって、箱根駅伝で3連覇を果たした青山学院大学駅伝部監督の話を紹介していただいた。その話は以下のようなものである。

『青山学院大学駅伝部が、箱根駅伝で3連覇できたのは、1年生から4年生までが一つのグループを作って、学年の壁、成績の上位、下位の壁を外して、一緒になって話し合い、練習方法を改善してきたからにほかならない。青山学院大学駅伝部以外の監督は、「こんな練習をしなさい」「次はこんな練習をしなさい」と次々と指示を出して練習させているはずだ。青山学院大学駅伝部の強みは、まさに、みんなで話し合うところにある。』

この話から、一人一人が自分の考えを持って発言・発表することは大切だということを改めて感じた。発言への意欲に課題がある高学年に、このような事例をぜひ紹介していただきたい。との意見をいただいた。

・最近、火の見やぐらに上って遊ぶ児童がいるとの情報が耳に入っているので、指導をお願いしたい。

・登下校時のあいさつの様子については、やる子とやらない子に分かれているように感じ

る。

- ・3世代ふれあい祭りには、小学生も来ているいろいろな工作（しめ飾り、凧、ペン立て、イス）を作っていた。結構楽しそうに作っていたので、こういう取り組みもいいと思った。
- ・地域で畑仕事をしていると、登下校の時よりも元氣よく挨拶してくれる姿を見ることができた。
- ・PTA 役員となり、改めて地域の人たちの協力が見えてきた。地域のお年寄りが登校時に立っ  
ていてくださり、「この子は、こういうふうに挨拶してくれるだよ。」と教えてくれたこと  
からも、地域の方に見守られていることを感じた。
- ・祖父母ふれあい教室には、会場にはあふれんばかりの大勢の方が参観しに来てくれていて、  
関心の高さを感じた。
- ・このような関心の高い祖父母が大勢いることで、全体として地域を盛り上げていく可能性が  
ある。具体的には、子どもたちが外で遊ばなくなっている現状においては、祖父母が外に連  
れ出したり、社会生活のことを教えたりできる。このことから、3世代の取組は今後もつ  
と大切になってくる。盛んにしていく必要がある。
- ・十日市もそうだが、ちっくい祭りなどにも子供たちは大勢来ていた。子どもはお祭りが大好  
きである。

平成28年度第2回学校関係者評価委員会では、以上のような意見をいただいた。

第1回学校評価をふまえて、課題をしぼり、その取り組みと成果を明らかにした第2回学校  
評価である。第2回学校評価をまとめて、後期の取組を評価していただいたと同時に、来年  
度に向けての取組に励ましをいただいた。学校関係者評価委員の皆さんの意見を参考にし、  
今後の教育活動をより豊かで実り多いものにしていくことを確認した。